

燕市全天候型子ども遊戯施設整備基本構想

令和3年12月



目 次

第1章	基本構想策定の趣旨と施設の位置づけ	3
1.	策定の趣旨	3
2.	施設整備の背景	3
3.	本市における遊び場の設置状況	4
第2章	施設整備の基本的な考え方	5
1.	基本理念	5
2.	施設整備の基本的事項	5
	(1) 施設機能	5
	(2) 施設及び駐車場の規模	6
	(3) 施設のゾーニングイメージ	7
第3章	施設候補地・施設の配置	8
1.	施設の候補地	8
	(1) 候補地の洗い出し	8
	(2) 建設候補地の決定	10
	(3) 優先交渉候補地	11
第4章	施設運営の基本的な考え方	12
1.	管理運営形態	12
2.	施設の利用料	12
第5章	概算事業費と財源について	13
1.	概算事業費	13
2.	財源	13
第6章	施設整備の進め方	14
1.	施設整備スケジュール	14
【参考1】	アンケートの概要	15
【参考2】	類似施設	18
①	「こども創造センター」(新潟市)	18
②	寺山公園・子育て交流施設「い〜てらす」(新潟市)	19
③	子育ての駅千秋「てくてく」(長岡市)	20

第1章 基本構想策定の趣旨と施設の位置づけ

1. 策定の趣旨

本構想は、全天候型子ども遊戯施設の整備に向け、施設の設置目的のほか、建設候補地や施設の機能・規模、概算事業費などに関する基本事項を策定し、施設整備の指針とするものです。

2. 施設整備の背景

平成31年1月に実施した「第2期燕市子ども・子育て支援事業計画」のニーズ調査では、子どもの遊び場の整備に関するニーズが高く、屋内型の遊び場への要望が特に高いことが明らかになりました。

本市を含む日本海側の地域は、冬期間において天候の悪い日が多く、夏場においては全国的に猛暑日が増加傾向にあります。こうした気象条件の日は、子どもたちは屋外で遊ぶことが困難な状況にあります。

幼児期運動指針（平成24年3月・文部科学省）によると、幼児期の遊びを中心とする身体活動は、体力や運動能力の向上、意欲的な心の育成や社会適応力の発達などのために重要であるとされているものの、現代社会は生活が便利になっており、歩くことをはじめとした体を動かす機会が減少しています。

本構想策定のためのアンケート調査（以下「アンケート調査」という。）によると、市民の皆さんは、市内に全天候型の大規模な遊び場がないため、近隣の新潟市や長岡市の施設を利用していることが分かりました。

これらのことから、市民ニーズに応え、子どもたちの心身の健やかな成長に資するために本施設を整備するものです。

【問】

燕市に対してどのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか（複数回答）。



【ニーズ調査の概要】

調査年月：平成31年1月

調査対象者：市内にお住まいの小学1年生～3年生の保護者
(無作為抽出)

3. 本市における遊び場の設置状況

子ども向けの「遊び場」の機能を含む施設は次のとおり分類されます。

その中で、全天候型子ども遊戯施設は、天候に左右されずに体を使っておもいっきり遊ぶことのできる機能を有する施設であり、本市では有していません。

	種類	機能
屋外型	都市公園（70カ所）	市民の休息、散歩、遊戯等、総合的な利用を目的に設置した公園（吉田ふれあい広場、燕市交通公園など）
	児童遊園（市内58カ所）	地域の「遊び場」として設置している小規模な公園
屋内型	子育て支援センター（市内12カ所）	主に乳幼児とその保護者向けの子育て支援施設
	児童館（市内7カ所）	地域の「遊び場」として設置している施設
	児童研修館（市内1カ所・こどもの森）	さまざまな体験活動を通じて、子どもたちの豊かな感性をはぐくむ施設
	全天候型子ども遊戯施設（市内0カ所）	天候に左右されずに体を使っておもいっきり遊ぶことのできる施設



第2章 施設整備の基本的な考え方

1. 基本理念

本市では、「第2期燕市子ども・子育て支援事業計画」において、「笑顔あふれる子育てのまちつばめ」を基本理念として掲げており、この理念を実現するため、本施設を整備します。本施設の整備により、子どもたちの心身の健やかな成長を支援するとともに、子育て環境の充実により、子育て世代の満足度向上に繋がります。

整備にあたっては、市民の様々な声を参考にするとともに、障がいのある子もいない子も、共に楽しめる施設を目指します。

2. 施設整備の基本的事項

(1) 施設機能

①遊具について

乳児から小学校高学年までを対象とします。遊戯スペースについては、安全性の確保に加え、年齢ごとの身体機能の違いや、興味のある遊具の違いから、年齢に応じたゾーニングを行います。

なお、配置する遊具については、アンケート調査で特に多くの要望があった、「大型トランポリン」、「アスレチック遊具」を導入することとし、他の遊具の配置も検討します。

【参考】ニーズの高い遊具（アンケート調査から）

- ・大型トランポリン
- ・アスレチック遊具
- ・クライミング
- ・ネット遊具
- ・滑り台
- ・ボールプール

②その他の機能について

アンケート調査より、施設にあったら良いと思う機能について、下記のような意見が寄せられました。設計の際にはこれらの条件も可能な限り取り入れた施設とします。

- ・休憩スペース
- ・おむつ替え専用スペース
- ・授乳室
- ・親が見守れるスペース
- ・障がいのある子もいない子も共に遊べる工夫 など

(2) 施設及び駐車場の規模

①施設の規模について

遊戯スペースの面積は、アンケート調査のクロス集計により算出した最大同時利用者数の計算から約 1,000 m²とします。また、施設に必要な事務室等の管理機能、エントランス、トイレ、手洗い場等の付帯機能を含め、建物全体の延床面積については 1,200 m²～1,400 m²程度を基本に検討を進めます。

【参考】最大同時利用者数及び遊戯スペースの面積の計算の手順

- ① アンケートで求めた「利用頻度」「利用日時」「子どもの人数」「子どもの年齢(0歳～12歳)」をクロス集計
- ② アンケートに未回答の施設利用者数を予測し、最大同時利用者数を 285 人と算出
- ③ 遊戯スペースの面積を、保育園設置基準における屋外遊技場の面積基準と遊具業者からの提案から 1 人当たり 3.3 m²とし、②で求めた同時利用者数に、3.3 m²を掛け 940.5 m²と算出

②駐車場等の規模について

アンケート調査のクロス集計によって最大同時利用家族数を算出したところ、最低 250 台分の駐車場が必要です。国土交通省の駐車場設計・施工指針を参考に、普通自動車 1 台分の駐車面積を車幅 2.5m×車長 6.0m、移動のための前面通路を 6.0m～8.0m 程度とし、1 台当たりの必要面積を約 30 m²とします。

駐車場は 250 台以上を確保するとともに、おもいやり駐車場等の機能も加え、駐車スペースと通路の面積を約 8,200 m²とします。また、利用者が利用しやすいような歩行者用の通路や緑地等の外溝、入口の乗降スペースを含め、駐車場等の全体面積については 8,800 m²～9,600 m²程度を基本に検討を進めます。

③調整池の整備について

開発行為に伴う整備用地の区画形質の変更により、豪雨時に周辺地域に冠水を発生させる恐れがあることから、調整池を整備し、予め対策を講じます。

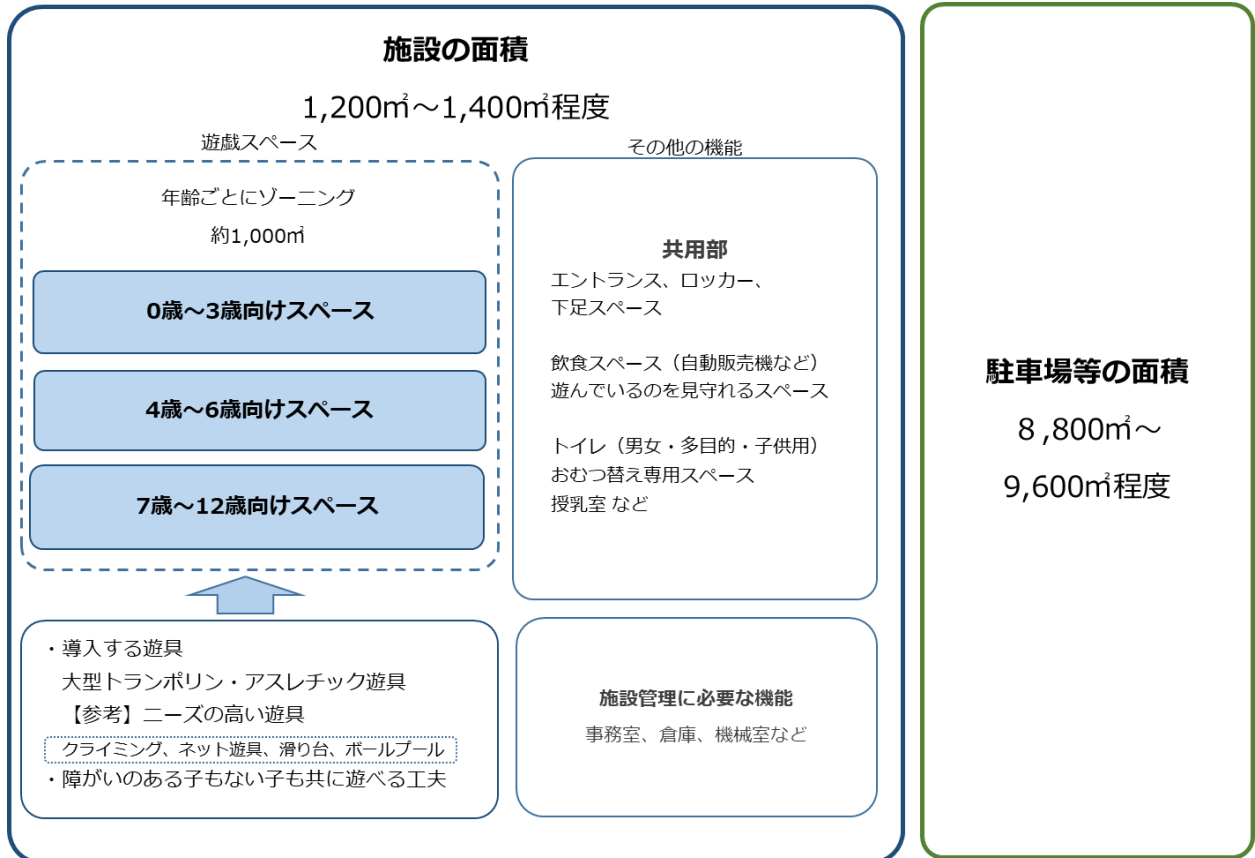
④全体の面積

施設面積(1,200 m²～1,400 m²程度)と駐車場等面積(8,800 m²～9,600 m²程度)を合計し、全体の面積を 10,000 m²～11,000 m²程度として検討を進めます。

(3) 施設のゾーニングイメージ

下記の図は、施設整備の基本的事項の機能をまとめたものです。これを基に、今後概略設計を作成します。

【参考】施設全体の概略機能図



第3章 施設候補地・施設の配置

1. 施設の候補地

(1) 候補地の洗い出し

施設の候補地の選定にあたっては、2段階で行いました。

まず、1段階目においては、市内全域を対象に、①市が保有する空き施設、②市が保有する利用中の施設のうち、転用の可能性のある施設、③周辺の公共施設との相乗効果が見込める立地、④民間施設など、建設の可能性がある候補地を洗い出した上で、総合的に検討し、次の4カ所に絞り込みました。



各エリアの具体的な候補地は次のとおりです。



交通公園・こどもの森エリア

児童の交通学習の場である交通公園や、児童研修館こどもの森が立地しているエリアです。本施設の設置により、子育て関連施設との相乗効果が期待できます。産業史料館、大曲河川公園、体育センター等の公共施設も近接しており、当該エリアのにぎわい創出にも繋がります。なお、公園北側農地を選定した経緯については、11 ページを参照ください。



吉田ふれあい広場エリア

子どもからお年寄りまでみんなが楽しめる憩いの場および健康増進の場として設置された吉田ふれあい広場は、約 12 万㎡の敷地面積です。ゴーカート場やバーベキュー場、ドッグラン等の他サッカー場 4 面分の芝生の多目的広場では、毎年各種スポーツ大会が開催されます。周囲の農地は周辺農用地区域との集団性が保たれているため、公園内を候補地としました。



旧燕工業高校跡地エリア

旧燕工業高校跡地は、老人福祉施設、燕北多目的武道場が設置されましたが、敷地東側に市有の遊休地が残っています。また、燕北多目的武道場の北側にある 4 号棟は、現在、市が倉庫として利用しています。4 つの候補地のうち、唯一既存建物を活用できる可能性がある 4 号棟を候補地としました。旧燕工業高校跡地の周囲は、住宅や工場が立ち並んでいます。



道の駅国上エリア

豊かな自然に囲まれた道の駅国上エリアは、国上山のふもとに立地し、観光施設、温泉施設、集会施設、および公園で構成されています。酒呑童子神社前に市が所有する駐車場があり、本施設の建設が可能な面積であるため、候補地としました。本施設の設置により、道の駅国上のにぎわい創出が期待できます。

(2) 建設候補地の決定

2段階目においては、それぞれのエリアで建設した際の評価を行いました。

評価にあたっては、「◎：3点」「○：2点」「△：1点」「×：0点」の4段階評価としました。

候補地		交通公園・ こどもの森エリア	吉田ふれあい広場 エリア	旧燕工業高校エリア	道の駅国上エリア
具体的な場所		公園北側農地	公園内	遊休地および4号棟	酒吞童子神社前の駐車場
市有財産の活用	◎：土地・建物ともに活用可能 ○：土地・建物いずれか活用可能 △：条件付きで活用可能 ×：活用不可	× (0点) 私有地	○ (2点) 市有地、建物なし	◎ (3点) 市有地、活用可能建物	○ (2点) 市有地、建物なし
周辺の子育て関連施設との 相乗効果	◎：相乗効果が期待できる施設が複数ある ○：相乗効果が期待できる施設がある △：－ ×：周辺に子育て関連施設がない	◎ (3点) 公園施設 (交通公園)、 児童施設 (こどもの森)	○ (2点) 公園施設 (吉田ふれあい広場)	× (0点) なし	○ (2点) 公園施設 (国上健康の森公園)
各地区からのアクセスのしやすさ 燕市役所燕庁舎 (旧燕市役所) 燕市民交流センター (旧吉田町役場) 分水消防署 (旧分水町役場)	◎：各地区からの距離の平均が最も短い ○：各地区からの距離の平均が2番目に短い △：各地区からの距離の平均が3番目に短い ×：各地区からの距離の平均が最も長い	◎ (3点) 平均5.9km 燕市役所燕庁舎 (2.9km) 燕市民交流センター (6.5km) 分水消防署 (8.2km)	○ (2点) 平均6.3km 燕市役所燕庁舎 (4.9km) 燕市民交流センター (3.0km) 分水消防署 (11.1km)	△ (1点) 平均6.9km 燕市役所燕庁舎 (2.3km) 燕市民交流センター (6.0km) 分水消防署 (12.3km)	× (0点) 平均8.5km 燕市役所燕庁舎 (12.1km) 燕市民交流センター (7.7km) 分水消防署 (5.8km)
降雪時の道路環境	◎：降雪時でもアクセスしやすい要素が複数ある ○：降雪時でもアクセスしやすい要素がある △：－ ×：降雪時の道路環境があまり良くない	◎ (3点) 県道68号から約400m / 前面道路に消雪パイプあり	× (0点) 周辺道路は農道であり地吹雪時は通行困難 / 消雪パイプなし	◎ (3点) 県道44号から約800m / 前面道路に消雪パイプあり	○ (2点) 県道2号から約200m / 前面道路に消雪パイプなし
市民ニーズ (アンケート調査による希望する立地場所)	◎：市民ニーズが最も高い ○：市民ニーズが2番目に高い △：市民ニーズが3番目に高い ×：市民ニーズが最も低い	◎ (3点) 1位：441人 (32.9%)	○ (2点) 2位：391人 (29.1%)	△ (1点) 3位：136人 (10.1%)	× (0点) 4位：102人 (7.6%)
合計		12点	8点	8点	6点

評価の結果、「交通公園・こどもの森エリア」の点数が一番高い結果となりました。

「交通公園・こどもの森」エリアは、項目「市有財産の活用」は「×：0点」ですが、それ以外の項目において全て「◎：3点」です。

項目「周辺の子育て関連施設との相乗効果」では、交通公園やこどもの森に隣接していることから高い評価となりました。交通公園は外遊びの機能を持ち、こどもの森は子育て支援の機能を持っています。そこに本施設の屋内型大型遊具による室内遊びの機能が加わることで、様々な相乗効果が期待できるとともに、施設の機能を相互に補完しあうことが可能となります。

また、本施設は外遊びができない冬期間の利用も想定していることから、項目「降雪時の道路環境」の評価は特に重要です。吉田ふれあい広場は、周辺に遮るものがないことから冬期に地吹雪が発生しやすく、視界が非常に悪くなり、アクセスがしにくい環境です。一方、交通公園やこどもの森は、公園の前面道路には消雪パイプが設置されているため、冬期にもアクセスしやすい環境にあります。

以上のことから、本施設は「交通公園・こどもの森」エリアに建設することが最適であるため、建設候補地とします。加えて、子育て世代から既に人気のあるエリアに立地することは本構想の基本理念にある子育て環境の充実にも繋がることから、その存在感を十分に発揮し、当該エリアのさらなる賑わい創出にも寄与することが期待されます。

(3) 優先交渉候補地

「交通公園・こどもの森エリア」は、図1のとおり、公園の北東側が河川区域となっているため、図2にある3カ所を候補地として、比較検討を行いました。

「①公園駐車場」については、調整池の役割があるほか、天候の良い日などは公園利用者で満車になる場合があるため、建設に適していません。なお、駐車場以外の公園内の敷地については、建設に必要な面積が確保できませんでしたので候補地に含めていません。

次に「②公園西側農地」と「③公園北側農地」については、共に農業振興地域です。「②公園西側農地」については、ある程度まとまった農地であり、施設を建設した場合、他の農地への営農環境に影響を与える可能性が考えられます。

一方で、「③公園北側農地」については、交通公園やこどもの森、体育センター等に囲まれているため、他の農地の営農環境に与える影響が比較的少ないものと考えられます。また、他の施設との連携も取りやすいことから、これらの候補地の中では最も建設に適していると考えられるため、優先交渉候補地とします。

(図1) 交通公園・こどもの森エリアの土地利用計画図



(図2) 交通公園・こどもの森エリアの候補地



第4章 施設運営の基本的な考え方

1. 管理運営形態

本施設の運営については、民間企業・団体・NPOなどの民間事業者のノウハウや専門性を活用することにより、効率的かつ柔軟な運営が可能であり、創意工夫によって利用者に対するサービスを高めることが期待できることから、指定管理者制度もしくは業務委託での運営を検討します。

2. 施設の利用料

アンケート調査によると、約4割は「有料でも利用したい」と回答しており、その過半数は「100円～200円程度」が妥当であると回答していますが、燕市の子育て環境を充実させるため、原則として燕市民については、無料とする方向で検討します。

第5章 概算事業費と財源について

1. 概算事業費

概算事業費については、新営予算単価、官庁施設の設計業務等積算要領及び事業者からの見積に基づき、施設建設分として798,000千円、用地取得・開発・駐車場整備分として700,500千円、その他、事業認定に係る公告掲載料や申請手数料等として1,000千円を見込んでいます。

区分	経費	金額(千円)
施設建設	施設設計業務委託料	33,000
	地質調査委託料	10,000
	施設工事費	740,000
	監理委託料	15,000
	小計	798,000
用地取得・開発・ 駐車場整備	測量設計・不動産鑑定委託料	14,000
	公共用地買収費	192,500
	造成工事	79,000
	駐車場整備工事費	132,000
	調整池整備工事	250,000
	地盤改良工事費	33,000
	小計	700,500
その他	事業認定に係る公告掲載料、申請手数料等	1,000
	小計	1,000
合計		1,499,500

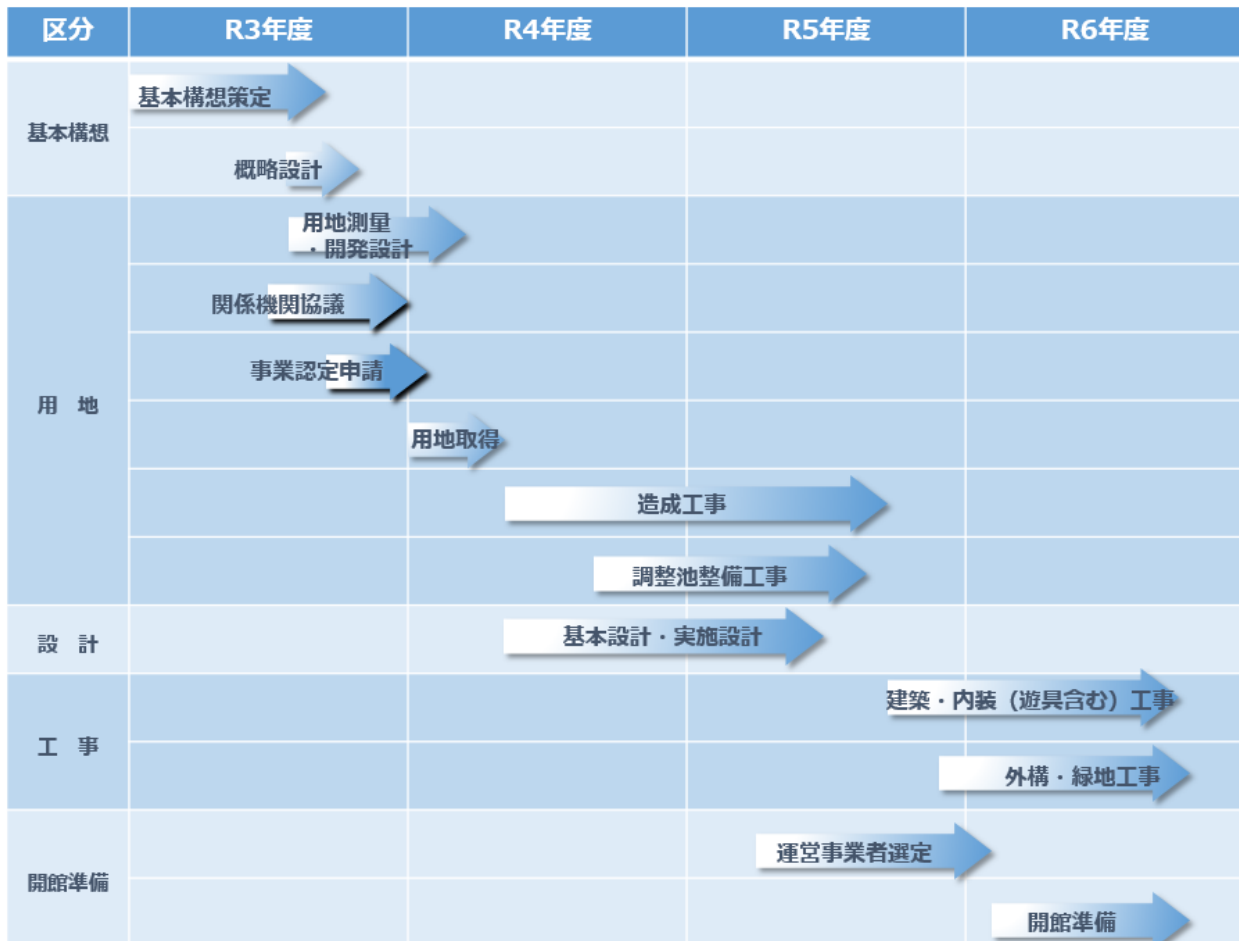
2. 財源

施設整備に必要な財源の調達については、クラウドファンディング型ふるさと燕応援寄附金を活用します。目標とする寄附額は、概算事業費が賄える35億円に設定し、用地取得の目途が立った後に募集を開始する予定です。

第6章 施設整備の進め方

1. 施設整備スケジュール

令和3年度当初予算案の時点では令和7年度のオープンを予定していましたが、令和6年度の冬前のオープンを目指します。



【参考1】アンケートの概要

目的：全天候型子ども遊戯施設の整備に向け、子育て世代の方々の声をお聞きし、整備の基礎資料とするため。

対象者：0歳～8歳までの子どもの保護者（配布数 3,548）

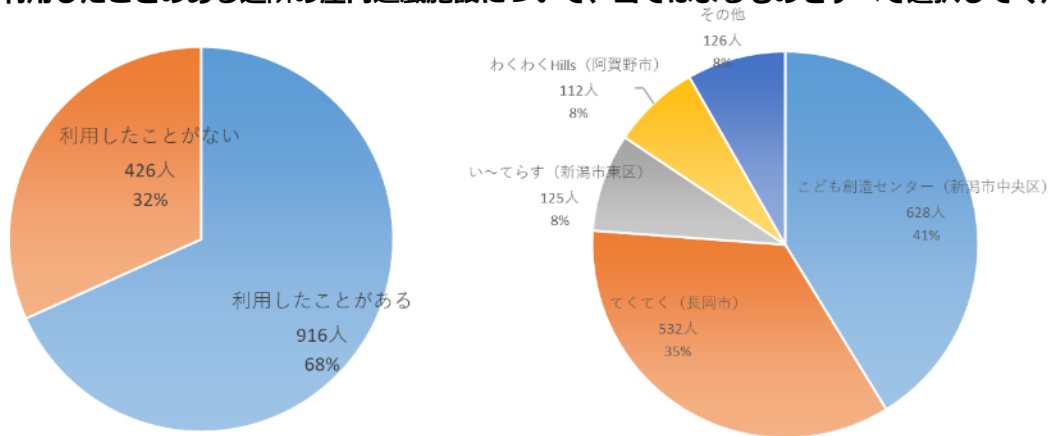
実施日時：令和3年5月20日から令和3年6月4日までの16日間

回答件数：1,342件（回答した保護者がもつ0歳～8歳までの子どもの人数の合計：2,083人）

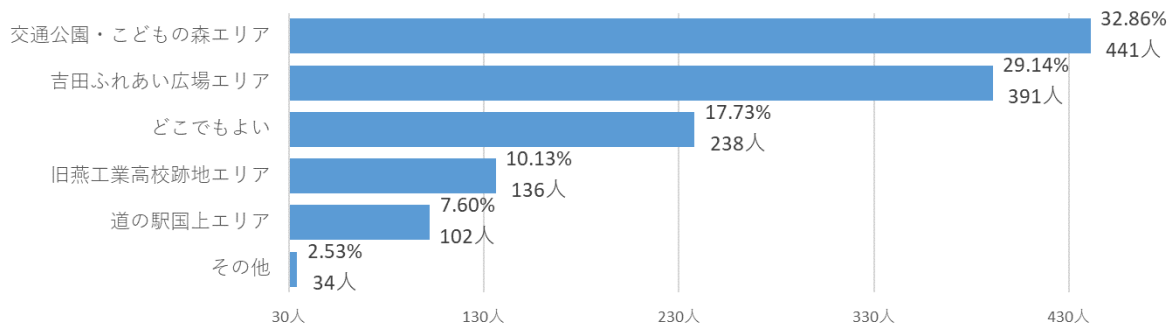
回答率：58.71%（2,083／3,548）

アンケート結果

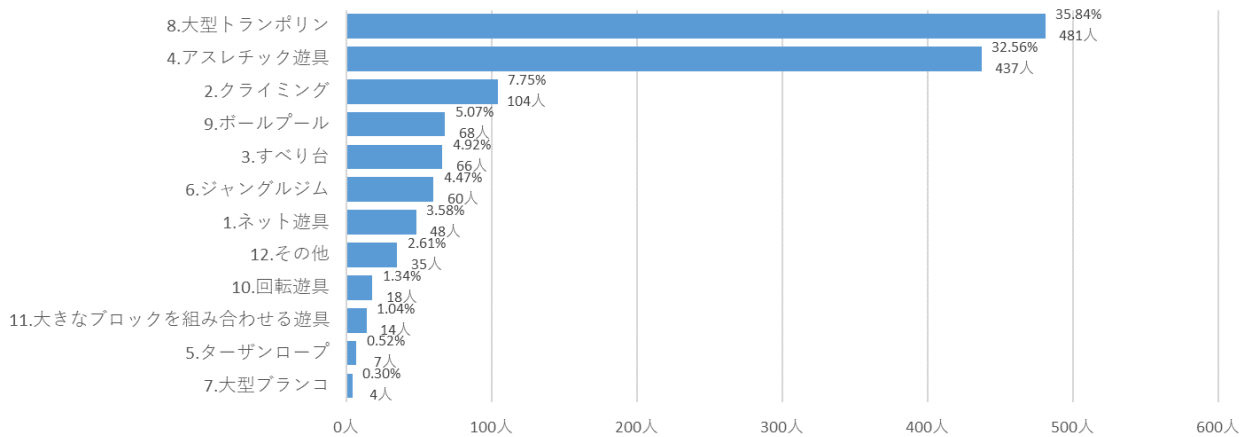
問 今まで利用したことのある近隣の屋内遊戯施設について、当てはまるものをすべて選択してください。



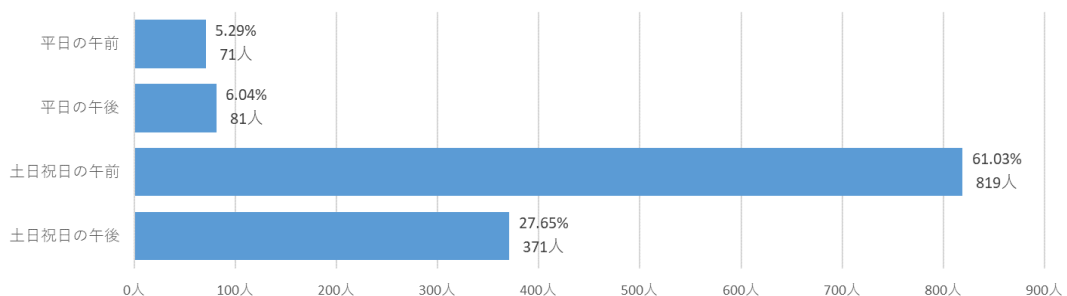
問 どこに施設があると良いと思いますか。当てはまるものを1つ選択してください。



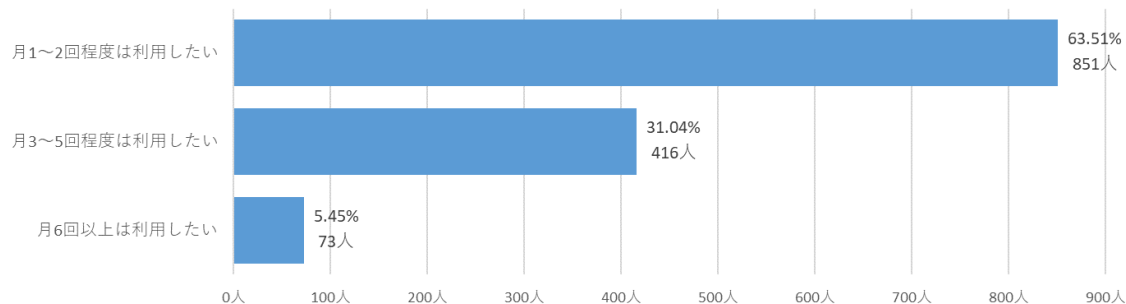
問 一番あったら良いと思う遊具を選択してください



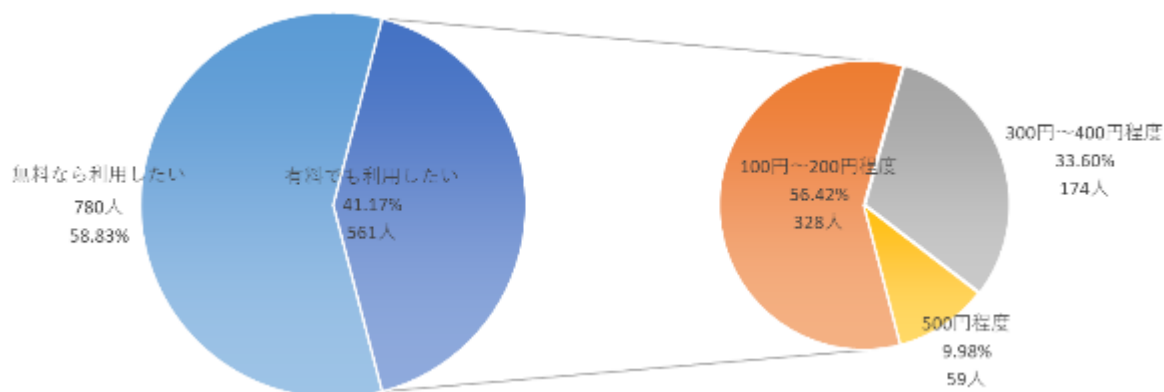
問 利用するとしたら、主にいつ利用したいですか。当てはまるものを1つ選択してください。



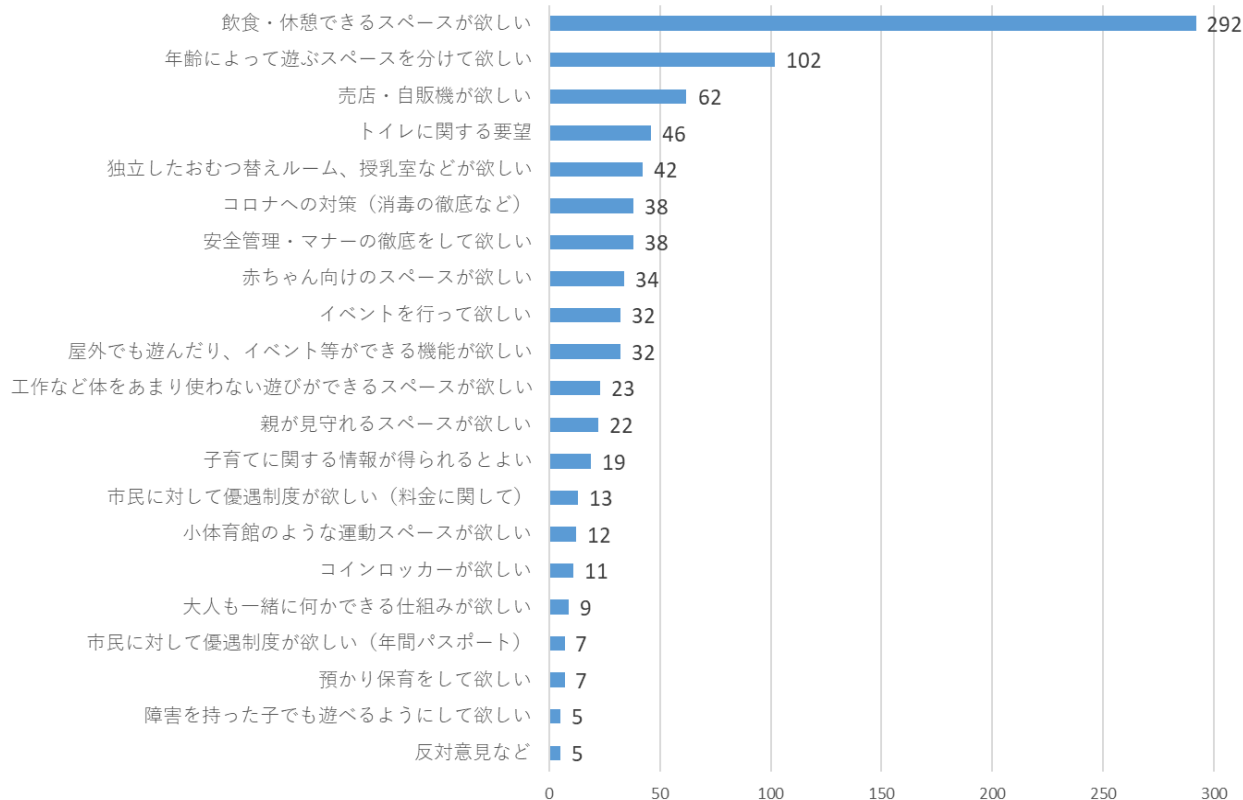
問 利用したい頻度について、当てはまるものを1つ選択してください。



問 施設の利用料金について、当てはまるものを1つ選択してください。



問 施設に対する要望等がございましたら、お書きください。



【参考2】類似施設

① 「こども創造センター」(新潟市)

施設情報

延べ床面積：2958㎡（敷地面積1437㎡）
対象：乳幼児～18歳
開館時間：午前9時～午後5時
休館日：火曜日、年末年始
利用料：無料（有料の体験講座等あり）
設置者：新潟市
利用者数：126,244人（令和2年度）
241,635人（令和元年度）



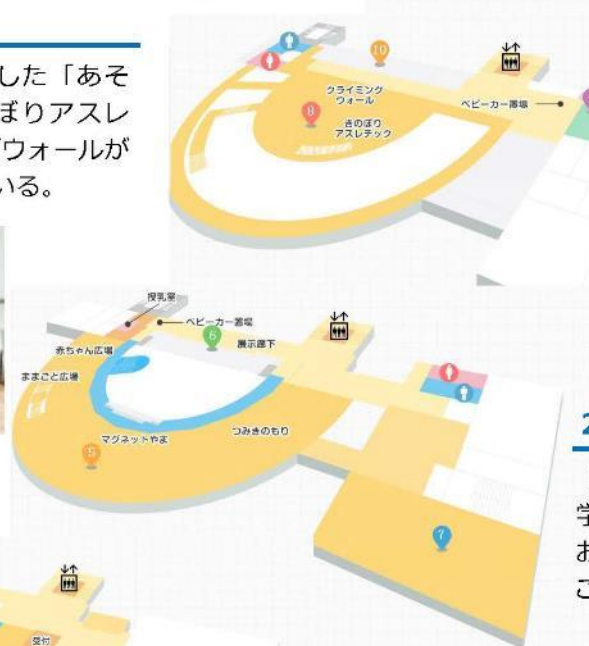
4階

3歳～12歳を対象とした「あそびのひろば」。にじのすべりだいやそらいろネットがあり、3階と連動している。



3階

6歳～12歳を対象とした「あそびのひろば」。きのぼりアスレチックやクライミングウォールがあり、4階と連動している。



2階

「乳児エリア」と「幼児～小学2年生エリア」に分かれており、おもちゃや絵本、ままごとや積み木で遊べる



1階

美術・工芸・陶芸を常設で体験できる「ものづくりひろば」や、舞台を設置



新潟市「こども創造センター」ホームページより

②寺山公園・子育て交流施設「い〜てらす」（新潟市）

施設情報

延べ床面積：1357.79㎡
 対象：乳幼児～小学校低学年（交流ゾーンを除く）
 開館時間：午前9時～午後6時
 休館日：交流ゾーン…年末年始のみ
 子育て支援ゾーン…毎週水曜日、年末年始
 利用料：無料（一時保育を除く）
 設置者：新潟市
 利用者数：100,118人（令和2年度）
 153,424人（令和元年度）



低学年ひろば

主に小学校低学年までを対象とした、滑り台やボルダリングなどを備えた大型遊具があるスペース



幼児ひろば

主に乳幼児と保護者を対象としたスペースで、玩具や絵本、小型遊具などを設置



学びと交流スペース

パパ・ママ向けの口座や映画の鑑賞会などの催しを行うスペース

休憩・飲食スペース

休憩や飲食ができるスペースで、誰でも利用可能

保育ルーム

小学校就学前の子どもを対象に一時預かりを実施するスペース

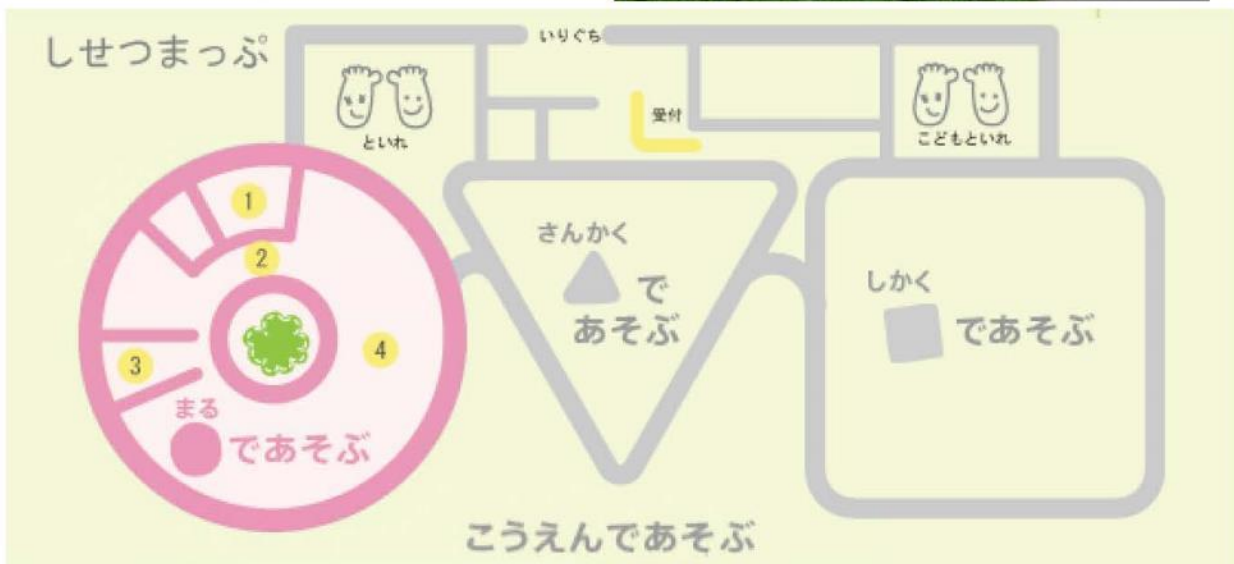


新潟市 寺山公園・子育て交流施設「い〜てらす」ホームページより

③子育ての駅千秋「てくてく」(長岡市)

施設情報

延べ床面積：1282㎡
対象：乳幼児～小学校低学年
開館時間：午前9時～午後6時
休館日：水曜日、年末年始
利用料：無料（一時保育を除く）
設置者：長岡市
来場者数：63,118人（令和2年度）
121,650人（令和元年度）



長岡市 子育ての駅千秋「てくてく」ホームページより

● (まる)

赤ちゃんコーナーやままごとコーナーなど、乳幼児向けのエリア



■ (しかく)

体を使って遊べる大型遊具がある「うんどうひろば」



▲ (さんかく)

ランチやおやつなど、飲食ができるエリア。
講座やイベント会場としても使用

